第　8回　宮城舞台技術者協会会議　議事録

日時	2020　年　　9　月　　9　日　19　時　00　分　～　21　時　00　分	場所	日立システムズホール仙台 エッグホール

議題

・「劇場へ行こう！プロジェクト」について　活動報告並びに収支報告
・定例会開催について（時間、場所等の設定について）
・関係する業界へのアプローチについて
・協会の年間スケジュールについて
・今後の要望活動について

出席者

佐野和永（アーツ）	村下弘修（I・C・Cインターナショナル）	寶玉浩太朗（コントライブ）	伊藤　幸夫（東北共立）	菊地孝（NASS）
渋谷昌弘（ピーエムシー）	今野芳明（ファクトリー・K）	吉田興二（フォーバックス）	石井忍（舞台監督工房）	小林道子（舞台監督工房）
斎藤豊寿（ライティングケン）	斎藤環江（ライティングケン）	明石学（atsound）	松崎太郎（アトリエミセイ）	國分秀昭（HK custom works）
市川優子（GET TOUGH）	山品晃彦（THE MODERN WORLD）	中鉢典男（differ）	鈴木洋行（ドレミハウス）	棟居尚（ムネスエ音響）
太田淳也	小宮芳紀	関紀子	丹野優香	

法人代表者、個人事業主、事務局 24名

決定事項

■関係する業界へのアプローチについて

○舞台監督協会、音響協会等関係する協会へ挨拶状を送り、情報提供等求めていく。

■要望活動について

○12月末で終了してしまう雇用調整金等の延長のお願いなど、継続して行っていく。

■次回からの会議について

○次回の開催日は、10月14日水曜日　18時から。 場所は改めて連絡いたします。

会議内容

■「劇場へ行こう！プロジェクト」について　活動報告並びに収支報告

○ご協力いただきありがとうございました。8/26は、64名、8/27は91名の合計155名にご参加いただきました。

◎会計報告について

80万円の予算に対して、最終的に 806,896円 となりました。端数の 6,896円は、協会費の方から捻出させていただきます。

●報告をして質問等 → 8/10の協会事業は活動にはいらないんですか？

→ はいりません。これは、別途協力事業になりますので、決算書に含ませることはできません。

◎活動報告について

●とても楽しく活動ができてよかった。

●8/26,27にご参加いただいたお客様から、先日お話を聞く機会があり、とても参考になったと感想をいただいた。色々な角度から見る事ができよかった。また、この方は、ご自分の公演で、早速感染症対策を実践されていた。

●色々と手探りな部分はあったが、皆で協力してまとまったと思う。協会としての一大イベントだったと思う。

●PCR検査をイベント参加者全員にと考えていたが、今現在強制はできないが、COCOAやMICAがある。これが、もっと広まっていったらいいのにと思うようになった。アプリに不具合は多いが、ローコストで感染確認できる。COCOAをインストールすると個人情報が漏れるという間違った認識があるが、実際はメールアドレスのみなので、特定されない。かえって、ライブハウス等COCOAをいれていない場合は、住所と氏名の記入となる。こちらの方が個人情報が漏れているというように感じる。

●名取市文化会館でもMICAを導入したそうです。検温の機器も導入されました。

会議内容

●公演会場でのCOCOAの使い方で一つ注意しなければいけないことがある。「機内モード」にすると機種によっては、BluetoothがOFFのままになっている。よって、『「機内モード」にした際には、Bluetoothをオンにしてください』と付け加える必要がある。会場によっては、携帯の電波を遮断できる会館がある。その場合は、通常Bluetoothがオンになっていれば、問題ない。現状は、マナーモードにしていただくことが無難では。多少のバイブ音は諦めるしかないかもしれない。

●主催者さん方の不安をどう払拭していくか課題。

●「イスの背に茶封筒作戦は、個人情報保護の観点で良くない、むしろ危ないと感じた。」とあるが、これはどういう意味？

→ チケットに氏名を書いたものを自席のイスの背中に入れる。関係者だけのイベントであれば有効であるが、そうでない場合は、個人情報が抜かれる可能性は十分にある。実際、とある学校でこの「茶封筒作戦」を実践していた。これは、保護者や友人とある程度限定されていた中で行われていたので、バックステージツアーでご紹介させていただいた。言葉足らずだったと思う。

●施設管理側の意見を聞いてみたいというお客様の意見に同意する。各会館ごとに状況も違うため、打ち合わせ等も大変になった。

→ 一般の主催者側の声を聞いていると、私達も積極的に打ち合わせに参加した方が、主催者側も助かるし、私達も最初に状況がわかるので、作業がしやすいと思う。

●会場の座席を確保するために、主催者から座席図を書いてほしいと依頼があった。一部情報提供いただいている施設があるが、他の会場もキャパ50%の座席図を作って公表していただけると、主催者が利用しやすくなると思う。

●11日に声を発しないイベントは、70～80%の客席がOKとなった場合、座席図は難しくなる。

●県内のとある会場では、座席にかけるプレートが主催者さんによっては、上手に取り付け出来ない方がいるため、月末から固定の市松席になる。50%以上のキャパになる場合は、主催者さんに委ね、現状復帰をお願いすることになる。

●座席が70～80%の蜜でOKになった場合、指定された席が嫌だというお客様が見えたらどうする？？ → 空席があれば、移動していただけるが、定員一杯の場合は無理である。

○10日に報告という形で、二日分の音声データをアップします。刻々と状況が変わってきている為、期間限定という配信がいいのでは。

→ 年内限定ということで、配信にする。ただし、社会情報の節目毎にみなおす。

○来場者アンケートを配布します。読んでいただき、継続して考えていただければと思います。

○仙台市民文化事業団さんや県の文化事業団さんが、「本来は自分達がやるべき企画だったのでは…」と声が上がっているようです。もしかしたら、次回の依頼があるかもしれません。その場合はすぐにお知らせします。

○ソーシャルPOPを貸し出しいたします。4種類あります。会員ページにも掲載しておきましたので、ご確認ください。ご希望の方は今野さんまでお願いします。

会議内容

■協会の会議の開催について

○今後の開催場所について。日立システムズホール仙台が10月から利用出来なくなる。どこの場所がよいか、引き続き検討していきたいが、平均出席率が30名弱になるので、皆さんからの情報提供を引き続きお願いしたい。

→（株）東北共立さんの新しいラボはいかがでしょうか？ 会社さんなので、日中開催であればお願いできると思うが、問い合わせしてみます。

■他の協会へのアプローチについて

○主に都内にある、舞台技術者連合、日本舞台音響家協会、日本音響家協会・日本舞台監督協会、公共劇場舞台技術者連絡会、日本舞台技術安全協会、全国舞台テレビ照明事業協同組合、日本照明家協会　などなど、私達とつながる、たくさんの協会がある。

今後の情報提供をお願いするべく、挨拶状などを送ってみるのはどうだろうか？

→ もしかしたら、1つ位連絡がくるかもしれない。まずはやってみよう。

○朝日新聞の全国版に、「（新型コロナ）ステージ激減、裏方もピンチ　音響や照明、技術途切れる恐れ」という記事が掲載されました。

■今後の要望活動について

○仙台市長や宮城県知事への要望活動は始まったばかりです。引き続き、議員さんの力添えを頂かなくてはならないと考えます。

現状の雇用調整助成金の延長は12月までです。11月末には、再び要望活動が必要になるかもしれません。ご意見をお願いします。

→ 継続して、議員の皆さん方のお力添えをいただきたいと思います。

会議内容	■今後の協会活動について ○11月に次年度の代表並びに事務局の、自薦、他薦を募集し、12月に決定することになっております。10月に案内を出しますので、 考えておいてください。